

留学報告書 Fall 2025

石原裕己
2025/12/8

1 ご挨拶

University of Texas at Austinで情報学(Informatics)を専攻しているFOS 2025学部生の石原裕己と申します。少しずつ生活にも慣れてきて、楽しく、有意義な最初の学期を過ごすことができました。

2 授業

今期は以下の授業を履修し、合計15単位を取得しました。

コード	タイトル	トピック
I301	Introduction to Informatics	情報学の歴史、価値観、子分野
I302	Academic Success in Digital University	情報リテラシー、文献研究の基礎
I305	Research Methods in Informatics	実験、インタビューによる情報学研究基礎
UGS303	Adventure Lab	インパクトの生み出し方
GOV312L	US government	アメリカ政治学(国際関係)

また、Writing, Computer Science, Calculusについてテストを受けて合計10単位を別に取得しました。

Informaticsのクラスについては全てプロジェクトベースであり、テストはありません。今学期は、主に、研究計画や文献研究を行ってプレゼンテーションや論文にまとめるプロジェクトでした。全体的に入門のコースであったため、授業についていくのが大変ということはありませんでしたが、上位学年のクラスになるにつれ難しくなっていくと思うので頑張っていきたいと思います。

I302では、UTの図書館のリソースが紹介されたり、引用や文献の評価や総合の仕方を学びました。今後の研究活動の基礎となるような有意義な内容だったと感じました。

今期で最も有意義だったと感じるのはAdventure Labでした。テーマは「インパクトの生み出し方」という非常にぼんやりしたものですが、テーマとアクティビティや授業方式がユニークでした。授業の構成は、クラスの最初20分ほどウォームアップのような席を立てペアで行うアクティビティがあったあとに、メインのテーマに沿って最終成果物を目指すアクティビティがありました。

例えば、“rejection is redirection”というテーマの授業シリーズが印象深かったです。拒否されても修正しながら何回もトライするということを目標として、最終成果物であるクラスのポッドキャストを作るというものでした。キャンパス内の知らない人に声をかけてインタビューし、録音して素材を集めるといったアクティビティを数回の授業にわたって取り組みました。より自然な会話になるような方法や質問をグループで議論してからインタビューを繰り返し、学期末には完成したオースティンのラジオホームページにて公開されました。私たちはこの授業内で教室の外に出て、知らない人に声をかけるということを何度も練習し、自分の中でもとても有用なスキルになりました。

特にこの授業を率いる講師のCharleeの学生の引き込ませ方が、チームマネジメントという点でも非常に参考になると感じました。

アクティビティの時間以外はPCスマホを使わないことがルールであるものの、学生があまり積極的になっていないアクティビティはすぐにやめ他のものに移るといった柔軟な授業方式で全員が飽きないシステムになっていました。また、常に笑顔でポジティブなワードが多く、聞き入ってしまうような話し方でした。常に共通のGoogle Slide上でグループでアクティビティの成果(主に写真や動画など)をシェアするというような、シンプルなツールで全ての学生が簡単にすぐ作業に取り掛かれるような工夫が多く見られました。毎回違うグループで教室の外に出てアクティビティをする中で、いつのまにかクラス内のコミュニティが出来上がり、居心地の良い空間になっていて、クラスでのパーティが計画されるほどでした。

3 課外活動

今学期は以下のような課外活動に取り組みました。

- Lobby Shelf (起業に向けた個人プロジェクト)
- Club Tennis
- ABSA (Asian Business Student Association)
- Japanese Association

UTで4年生をしている日本人学生の方で、テキサスでテイクアウトの寿司屋を起業し、事業を拡大させている方に出会い、その方に影響されて起業を目指す個人プロジェクトを始めました。特に学生など忙しい人が置き配を選択しているにも関わらず、アメリカの集合住宅で宅配ロッカーから荷物が溢れてしまっていたり、そもそも宅配ロッカーや宅配ルームの設置が高額でできていない物件が多いということを課題に感じました。元々私の両親が小さなアパートを管理していることもあり、オーナーの財政状況と住人の要望を両立することの難しさを感じていたので、それもモチベーションとなりこの課題を何とか解決できないかとプロジェクトを始めました。

日本で他のスタートアップが実証しているような製品を参考にしながら、アメリカでも使えるようセキュリティを大幅に強化して、設計を行いました(次ページ左)。ロッカーの代わりに棚のような構造を採用し、センサーおよびカメラで荷物の位置を把握します。受取人に送られたQRコードで解錠できます。解錠していない場合や、解錠後他の荷物を取り出そうとした際にはフリップが開かずに取り出せないような仕組みになっています。

そして、利用の流れを掴めるようなMVPを作製し、テーブルリングを行いました(次ページ右)。交流会やテーブルリングでアパートのオーナーやアパートの居住者に話を聞いて、荷物を盗まれたり、荷物が溢れるということは頻発しており、非常にストレスを与えるという問題を非常に強く感じました。その一方で、配達時のセキュリティについて設計上の課題や、一人で開発を行ったことによるプロトタイプの開発スピードの課題を感じました。次の学期はチームメイトを増やし、まとめていくといったリーダーシップを高めながら動いていきたいと思います。



4 生活面

寮の食事はそこそこ美味しくて、特にテキサスはバーベキューやメキシコ料理が美味しいのでそこまで辛くは感じていません。周りにはダイソーやアジア系スーパーも充実していて、1~2週間に一回程度、他の日本人や韓国人学生と料理しているのでアジア料理もそれなりに食べられていました。ただ、寮は狭い部屋でルームシェアをしています(下図左)。私が一人っ子で他の人と寝室をシェアすることに慣れていないということもあり、ストレスを感じています。来年は、アパートに移って、ストレス解消法を見つけてQOLを上げていければと思っています。

他には、筋トレが続けられました。アメリカの食事にも助けられて、6kgほど増量できました。FOS2025の中には他にも筋トレをされている方がたくさんいるので、励まし合いながら今後も続けられればと思っています。

Thanksgivingには、同じくFOS2025の伊東理沙さんが留学しているコロラドに旅行しました。自然豊かかつ星が綺麗で、オースティンとは違った良さがあったて楽しかったです。(下図右)



5 最後に

以上のように、充実した留学生活が送れています。また、高校のテニス部の後輩が、海外大学進学を考えているらしく、色々相談を受けています。あまり海外大学進学者がいなかった母校から、ファーストペンギンとして飛び込んで、その少しでも参考になるような経験を伝えられて、海外大学進学者が増えていくかもしれないのはとても嬉しく感じています。

改めて、船井財団の方々には質問にもすぐ返答いただき金銭面以外でも強くご支援いただき、本当にありがとうございます。